

## 2025年8月24日（日）第二礼拝「救いの箱舟」創世記6章14節

創世記六章には、大洪水のことが書かれています。その前に、神様はノアを選び、箱舟を造るようにされました。神様の恵みによって、ノアの八名の家族は全員救われました。

第一番目、洪水が起こった理由です。洪水が起こったのは、聖霊様が人から離れたからです。そこには結婚の問題がありました。神の子どもたちは、人の娘たちの美しさを見て、その中から好きな者を選び、結婚しました。創世記五章には、アダムの子孫たちの名前が記されています。彼らはイエス様を信じる信仰によって神の子とされ、いのちの書に記録された人たちです。しかし、その彼らが人間的な条件（外見の美しさやお金、成功、能力等）を備えた女性たちと結婚したため、神の霊が彼らとともに住むことができなくなりました。

第二番目、聖霊様が離れると、人の悪が増大します。聖霊様が離れると、人の心に計ることがみな、悪に傾き、悪が増大しました。それをご覧になった神様は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められました。「地は、神の前に墮落し、地は、暴虐で満ちていた。」（創世記6：11）墮落とは「シャハット（腐敗）」と言い、水から離れた魚が死んで腐る状態、つまり、自ら死に向かい滅びることを意味します。人が善悪の知識の木の実を取って食べ、神様との関係が断絶された結果、御言葉と聖霊様から離れ、霊的に死んでしまった状態を表します。このような墮落(腐敗)の後には、暴虐が来ます。この暴虐(暴力)はヘブル語で「ハマス」と言い、権力がある者が弱い者をいじめることです。ノアの時代にいたネフィリムは昔の勇士であり、名のある者たちでしたが、彼らは弱い者を抑圧し、支配し、暴虐に満ちていました。まさにハマスです。私たちが生きるこの時代も同様です。今後、更に悪が増大し、CBDCという貨幣が作られ、私たちの自由が奪われ、獣の刻印を押され、刻印を押さない者は売買できないような社会になることが聖書にも書かれています(黙示録十三章)。

第三番目、水の審判と火の審判です。悪がはびこる中、ノアは神様の心になんていませんでした。英語では、ノアは神様の目で恵みを見たと書かれています。ノアは暴力社会(ハマス)ではなく、神様の品性(愛、喜び、平安)を愛し礼拝する者でした。ノアと同じ価値観を持つ、ノアの家族も集まり、共同体となりました。神様はノアに箱舟を造るように言われ、その内と外に木のやにを塗るように指示されました。木のやには、イエス様の血潮と聖霊様の油を表します。箱舟は百二十年間かけて造られ、必要なものはすべて与えられました。舵も帆もありません。ただ浮かび、流れにまかせます。その箱舟の船長はイエス様です。箱舟である教会の主もイエス様です。私たちがイエス様の血潮と聖霊の油で覆われる時、この世の価値観は入ることができず、イエス様の十字架の愛を賛美し、隣人を愛する共同体となることができます。ノアの時代には、神様は水でハマス(暴虐に満ちた社会)を審判され、箱舟を通してノアの家族を救われましたが、今の時代は聖霊の火によってハマス(この世の価値観)を審判されます。私たちが、私たちのうちにあるハマス的な心を悔い改め、聖霊充滿になり、互いに愛し合う時、神様の愛が私たちのうちで全うされ、リバイバルするでしょう。